

無所属 西東京市議会議員

森てるおの なんでもりポート 第50号



2009年5月発行（隔月発行）

定期購読料：年間1,000円（送料含む）

編集：森てるお事務所 発行：森てるおと市民の目 西東京市中町2-8-13-102

電話：042-439-7023

FAX：042-439-7024

シリーズ「地方自治」…その2

100人の村では…

皆さんは議会をどのようなものだとお考えでしょうか。市町村には必ずあるものと、議会の存在を当たり前の前提にはしていないでしょうか。

住民が100人の村でも住民の登録、税金の徴収、サービスの提供などの業務があるから、行政の機構（役所）は必要です。しかし、100人の村だったら役所の仕事は住民の目の届く範囲に収まります。住民が1000人だったらどうでしょうか。それでも不可能ではないと思います。

地方自治法では「町村の議会に変えて住民総会を置くことができる」ようになっています。上記のケースを想定しているのでしょうか。つまり、議会は当たり前の存在ではないということです。住民が必要だと考えたから議会が置かれたということです。ここが議員の仕事を決める出発点です。

議員は猫の見張り番

議会が当たり前の前提でないとしたら、「住民が求めたもの」が議員の仕事になります。住民が口利きを求めた自治体では、残念ながらそれも議員の仕事なのでしょう。よく「住民の負託に応える」と口にする議員がいますが、「住民が求めたもの」を都合よく解釈して、自分の必要性を過大に売り込んでいるにすぎません。

財政が縮小して、仕事として売り込むものがなくなってきた昨今では、まだしも良質な議員までもが「条例作り」を議員の仕事と主張しています。一介の議員に「条例作り」は困難です。条文を1行変えただけでも、いくつもの関連条文の変更が必要になります。そこまでやるためには相当数のスタッフを置かなければならず、無駄な二重投資になります。今の制度を、議会が執行者を雇うシティーマネージャー制に変えるというのなら話はわかりませんが。

役所があれば仕事をこなせるのに、なぜ議員を雇い、議会を置いたのでしょうか。政治家を首長に据えた行政がまともだったら、議会や議員は必要ありません。必ずしもまともではないから、その監視役が必要だったのではありませんか。

たとえ話で言えば、住民は猫（首長）を飼って仕事をさせています。しかし、猫は目を離すとおせんの上の魚を取ります。住民は仕事で忙しいから常時見張っているわけにはいかず、子どもたち（議員）に小遣いをやって、見張りをさせているといったところでしょう。夕張市の財政破綻は、子どもたちが役目を怠ったせいです。単に監視をサボったのか、猫に分け前をもらって見逃したのか即断できませんが、子どもたちは唯一の（最大の）仕事を果たさなかったのです。「上げた小遣いを返せ！」と言いたいですね。（裏面に続く）

子どもが「猫は魚を取るもの」と考えていなかったのではなく、自分の役目を猫から分け前をもらってお友達に配ることだと思っていたことが、監視が失敗した理由です。議員が支持者のために首長から何かをもらう、ないしは、ぶん取ってくることを自分の仕事だと考えている限り、税金の使い道を糾すという本来の任務を果たせるはずがありません。

情報公開の価値

ところで「税金の使い道を糾す」といっても議員の問題発見能力は決して高くありません。任せっぱなしでは何の役にも立ちません。市民が持っている知識、感覚を借りなければ問題の所在にすら気づかないのです。

私が住民訴訟に関わった「薪能不正経理事件」を例としてお話しします。「薪能不正経理事件」では、イベント用に国立能楽堂から映画のフィルムを4本ほど借り出していました。そして決算書にはフィルム代として50万円が計上されていました。この決算書を見たところで、何の違和感も感じません。「う～ん、4本で50万円、高いのかな～」ところが、見る人(専門家)が見ると違います。国立能楽堂では、能の普及、啓発のためには、フィルムは無料で貸し出しているというのです。

市民はそれぞれ仕事や趣味で多くの知識を持っています。この知識と行政情報が交わったときに、おかしい事象が発見できるのです。市民が感じる「なんか変だ」から議員の仕事が始まります。情報公開が必要というのはこんなところにも大きな理由があるのです。

病氣療養のご報告

5月から、病氣治療と療養のために入院しています。入院期間は6月下旬までになるかと考えています。第2回定例会(6月議会)にはまったく出席できず、残念であるとともに、市民の皆さんには申しわけなく思っています。



病名は直腸がんです。内視鏡手術で取れる時期をすぎており、開腹手術で取ることとなります。進行具合は第2期で、精密検査の結果では他部位に転移は見当たらず、転移のリスクも高くないと聞かされています。

退院後も体力回復を含めてリハビリが必要ですので、自宅で静養することになりそうです。復帰に向けて鋭気を蓄えるつもりでいますので、しばらくの現場離脱をご容赦ください。

○森てるおの活動記録(2009年3月~4月)

※ 主なものを掲載しています。

3月

4月

- 2日 代表質問
ポスティング
- 3日 一般質問(~5日)
- 6日 予算委員会(~9日)
- 9日 駅周辺再開発等特別委員会
- 10日 議運、本会議、土地開発公社
- 11日 企画総務、文教厚生
- 12日 建設環境
- 13日 予算委員会(~25)
- 14日 ストップの会
- 15日 井戸端会議
- 19日 中学校卒業式
- 25日 小学校卒業式
- 30日 議会最終日

- 3日 市政調査
- 5日 道路駅頭署名(東伏見)
- 8日 道路駅頭署名(保谷)
- 11日 平和事業
- 12日 井戸端会議
- 13日 駅周辺再開発等特別委員会
- 15日 議会報編集委員会
道路駅頭署名(東伏見)
- 18日 イオン東久留米店説明会
- 19日 道路署名戸別回収
- 20日 国民健保支払い打ち合わせ
- 22日 議会運営委員会
- 28日 道路駅頭署名(東伏見)
「拡声器」刷り上り(引取り)